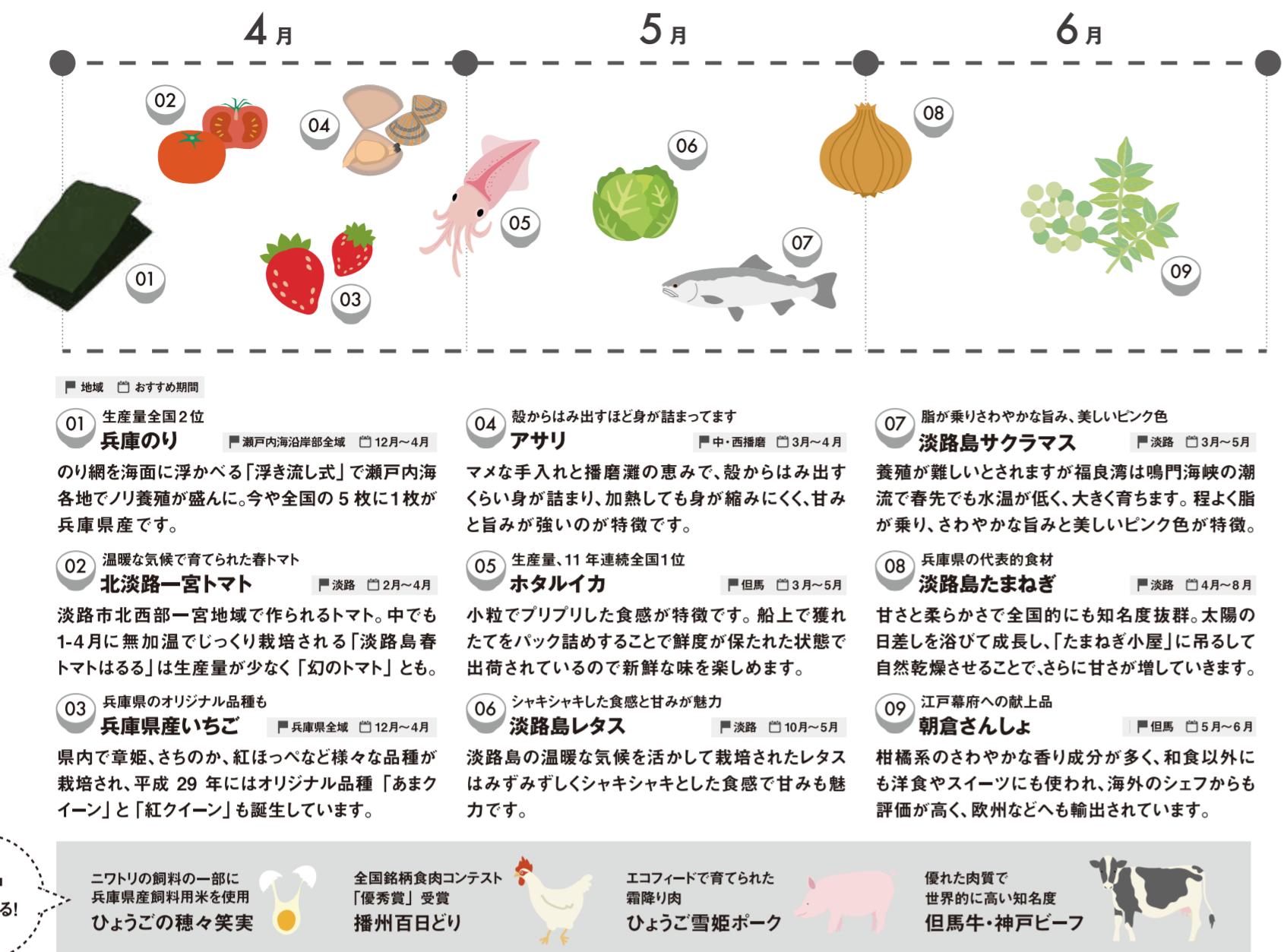


参考
兵庫県産旬の食材カレンダー



フェア第1弾
開催期間
2023年
5月16日火
↓
6月18日日

HYOGO うまいもん COLLECTION

コレも兵庫

ワールド・ワン
×
兵庫県



HYOGO うまいもん COLLECTIONについて

「日本の縮図」ともいわれる多様で恵まれた自然から、多彩な食材が生み出されている兵庫県。その兵庫の食材をより多くの方々に味わって魅力を知っていただきたいと、兵庫県と株式会社ワールド・ワンが連携協定を結び、当フェアを企画いたしました。ぜひ兵庫の“うまいもん”をご堪能ください。

郷土とともに。WORLD ONE × 兵庫県

「ひょうごのうまいもん情報局」では兵庫県産食材の情報を発信しています。ぜひフォローや登録をお願いします。

Instagram QRコード
Facebook QRコード
LINE QRコード

QRコード: ひょうご農畜水産物パンフ
QRコード: 兵庫県の認証食品などを販売するECサイト「御食国(みけつぐに)ひょうご」

フェア開催店舗

ひょうご五国ワールド神戸三宮横丁

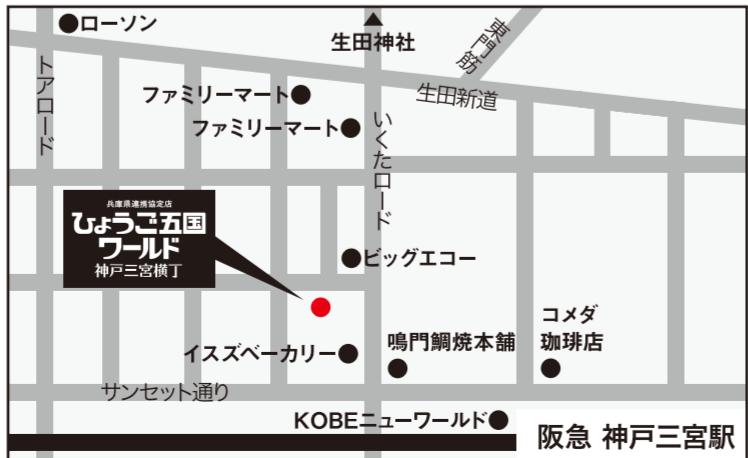


078-321-4510

〒650-0012
神戸市中央区北長狭通
2-1-6 三宮三陽ビル 2F



店舗の
詳細情報は
こちらから



CONTENTS

Interview

「一番摘みの風味や甘み、歯切れの良さは格別です」
須磨海苔漁師 若林良さん(すまうら水産)

トピック

ワールド・ワンで食べられる!
兵庫の食材、あれもこれも。
淡路島えびす鯛、ホタルイカ、たまねぎ…

Information

兵庫県産食材カレンダー/フェア情報/店舗案内





一番摘みの風味や甘み、歯切れの良さは格別です。

(若林さん)

若林：これがシーズンの一番最初に採れた初摘みの海苔。お茶でいう一番茶かな。まずはこれ、一口食べてみてください。
斎岡：わ…風味が口にふわっと広がる。海苔の味が濃いでですね。そしてこの歯切れびっくりです。
若林：そう、これが一番海苔の魅力なんです。でも一番海苔が採れるのはたったの1週間なんです。全体の生産量のうち3%くらい。その後は2番、3番ときてシーズン終わりは12番くらいでいきかん。
斎岡：先ほど見せていただいた加工場で、ああやって原藻をカットして紙漉きのように海苔を作っていくんだ。
若林：海苔漁師は原藻を育てて採るだけじゃなくて、板海苔にするまでが腕の見せ所。気候などで変わる原藻の状態を見てカットの細かさとか、厚みも0.1g単位で調整します。僕たちは歯切れや柔らかさも意識して穴があくぎりぎりのところを狙って薄く薄く。
斎岡：だからこそ、この歯切れの良さ。
若林：でも海苔は歯切れの良さだけではないし、海苔ってまだまだそんなに意識されてないかもしれません、実は時期や作り方によって価格も種類もたくさんのバリエーションがある。だからこそ、「歯切れの良い一番海苔だからこうやって食べよう」とかもっと海苔を楽しんでいただけたら僕たちも嬉しい。食べ方も、例えばこの海苔をスープに入れるだけでもめちゃくちゃいい出汁ができるんですよ。
斎岡：食感や甘み、磯の風味…。使い方によっていろんな

海苔の側面が引き出せそうですね。
若林：そう、使い分けてもらったら。味以外にも、例えば一番海苔はすごくやわらかいので、巻き寿司にするとお米の水分を吸いやすくして長く置くと手に付いてしまうんです。
斎岡：なるほど…。でもこの風味や甘みはぜひシンプルに寿司で一度味わっていただきたいところです。直前で巻くっていうのはどうでしょう?
若林：確かに。そうすれば一番海苔の風味や甘み、歯切れの良さなどを楽しめる巻き寿司になります。それだけ須磨海苔の良さを引き出していくだけ生産者としてもこのうえなく嬉しいです。



期間限定



須磨海苔を味わうこんな料理も。

斎岡料理長's comment

須磨海苔の中でも、一番海苔の歯切れや風味の良さそのまま味わってもらえるよう、あえてお客様自身で巻いていただく手巻き寿司に。最初に海苔だけを味わってもらうのもおすすめです。



すまうら水産有限責任事業組合

1960年代から始まった須磨浦での海苔養殖事業を次世代に引き継ぐため2014年に設立。海苔養殖事業のほか、漁業、海産物の販売も。海苔養殖は種付け、海苔網の設置、収穫、加工までを行う。

すまうら水産直売所
☎078-731-5001 ⓐ水曜
⌚10:00~17:00 ⓐJR須磨駅徒歩1分
🌐https://sumaurasuisan.jp/shop

期間限定

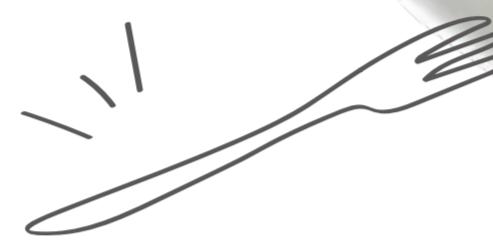


神戸豆腐の須磨海苔揚げだし 528円

約100日間かけてじっくり育てられています。

兵庫県の多可町でのみ育てられている「播州百日どり」。通常より約2倍、おおむね100日間かけて平飼い鶏舎で育てられ、細やかな肉質、ほどよい歯ごたえ、そして豊かな旨みが魅力。その味わいとジューシーさを存分に楽しめるよう、蒸してピリ辛風味の特製ソースを。

播州百日どりのよだれ鶏
748円



酒米の王様は兵庫で誕生、生産量も日本一。

山田錦の粒々感を楽しめるジェラート。山田錦は1936年に兵庫県立農事試験場で誕生して以来、今や全国の酒蔵で使用され、「酒米の王様」とも呼ばれています。兵庫県での生産量はなんと全国の約6割、日本一の産地なんです。

酒米山田錦使用ライスジェラート
308円



実は漁獲量日本一。

あまり知られていないけど、実はホタルイカの漁獲量は、兵庫が日本一。例年4月には「浜坂みなとホタルイカ祭り」が開催され、大釜あげのふるまいとともに、「わんこホタル」が名物です。香住産ホタルイカをそのまま醤油に漬け込んだ沖漬けは、ぱりぱりの食感と独特的のクリーミーさを味わえます。

香住産ホタルイカの沖漬け 429円



ワールド・ワンで食べられる!
兵庫の食材、
あれもこれも。
コレも兵庫

兵庫が誇る食材の代表格。

甘さと柔らかさで全国的にも認知度が高い「淡路島たまねぎ」がまるごとステーキに。たまねぎを干す「たまねぎ小屋」が立ち並ぶ風景は淡路島の名物で、「南あわじにおける水稻・たまねぎ・畜産の生産循環システム」が日本農業遺産にもなっています。

淡路島たまねぎの丸ごとステーキ 549円

御食国の新ブランド。

「淡路島えびす鯛」は古代から平安時代まで皇室・朝廷に食料を貢いでいた「御食国」、淡路の新ブランド。美味しさの秘密は、明石、紀淡、鳴門の3つの海峡の潮流で引き締まった身と豊富な餌。丹波のベビーリーフも添えて初夏にぴったりなさっぱりした味わいでどうぞ。

淡路島えびす鯛のカルパッチョ 1,078円

春の
おすすめ

